

# 大野 岳

教育目標 「ふるさとを愛し 夢・志をもつ児童生徒の育成」

～ふるさとに学ぶ ふるさとを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～

令和6年4月12日発行 文責 校長 中尾 聡彦

わたしたちの郷学館は、わたしたちが創る！

南波多郷学館校長2年目になります「中尾聡彦(なかお あきひこ)」と申します。昨年度は、保護者や地域の方々の学校に対する温かいご支援を受けながら、様々な教育活動を展開することができました。本当にありがとうございます。育友会の現地研修会においても、本校のコミュニティ・スクールとしての取り組みは高く評価されたところです。この長い時間をかけて南波多町が育ててこられた素晴らしい校風を引き継ぎながら、今年度も、子どもたちが「喜んで登校し、満足して下校する学校」を目指していきたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

「自分たちの力で！」(始業式の話：一部抜粋)

この学校の今年のキーワードを発表します！

「わたしたちの南波多郷学館は、わたしたちが創る！」です。

「えっ？昨年度も一緒じゃないですか？」と思っている人もいます。

ところが違うのです。今年はバージョンアップします！

「自分たちの力で！」ということ意識してください。

しかも、9年生や児童生徒会の本部だけではなく、ここにいる2年生から9年生まで全員が意識してください。

「2年生には無理だ」と思っている人もいるかもしれませんが、そうではないです。

今から、本当にあった話をしますので聞いてください。

先生が、30年ほど前に勤めた学校で、初めて2年生を担当しました。とても元気のある学級でした。そこで、その2年生に、「みんなの元気のよさを、この学校の役に立てることができないか？」と問いかけました。

すると、N君という子が「この前、6年生にあいさつしたら返してくれなかった。嫌な気持ちになった。あいさつ日本一とか言っているのに！だからあいさつ運動をしたい！」と言いました。

すると、ある子が「それは、5年生や6年生の仕事でしょう！自分たちには無理だと思います。」と言いました。わたしは「できるところまでやってみたら！」と言いました。早速、学級会を開いて朝7時半から当番を決めて、みんなであいさつ運動をするようになりました。

最初の1か月ぐらいは、みんなががんばることができましたが、その後は、少しずつ減っていきました。そして、とうとう最後は一人だけ…。その一人は、N君でした。わたしも、毎朝、2階にあった職員室から見ていたので気づいていましたが、わざと見て見ぬふりをしていました。その姿を見るのは、とてもつらかったです。一人になって1週間ぐらいが経ったある日、雨がひどく今日はさすがにと思いましたが、N君は一人立ってあいさつ運動を続けていました。しかも、わんわん泣きながら…。その姿は今でも忘れることができません。

しかし、このN君の姿に心を動かされたのはわたしだけではありませんでした。同じクラスの2年生の子、そして6年生も同じでした。このあと、2年生の提案であいさつ運動は全校に広がり、以前と比べると気持ちのよいあいさつが学校中に広がりました。

みなさん、今年のキーワードは「わたしたちの南波多郷学館は、わたしたちが創る！」です。

このN君の行動にヒントがあります。考えてみてください。

## 令和6年度の南波多郷学館は…

南波多郷学館は開校して7年目を迎えます。過去6年間、義務教育学校や地域と共にある学校の在り方を検討し、少しずつ改善がなされてきました。

令和6年度は次のことについて改善を行いますのでお知らせいたします。

- 1 児童生徒の送迎について(旧南波多中学校駐車場：一方通行)  
年度末の学校評価に保護者から寄せられた意見を基に一方通行に変更しました  
保護者の方々のご協力でスムーズに変更できています。ありがとうございます。
- 2 学校行事について
  - 体育大会：開始時刻を9時に遅らせ、昼食をはさんだプログラムとする。
  - 文化発表会を土曜日開催とし、広く保護者や地域の方々の参観を促す。
- 3 ステージ2の5・6年生はできる限り教科担任制とし、後期課程教員の教科の専門性を導入する。

## 祝 令和6年度伊万里市立南波多郷学館入学式

本日(4/12)、新1年生 17 名を迎え、170名のすべての児童生徒がそろいました。  
これから、どんな学校生活が待っているのでしょうか？ワクワクドキドキですね。